

東京都中央卸売市場における本県青果物の販売状況（令和 7 年 3 月）

<野菜類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	価格 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
れんこん	649	85.2	96.3	501	122.3	114.1	691	504
レタス	2,715	114.2	97.8	211	89.5	118.6	5,107	207
はくさい	3,368	71.3	66.3	162	197.7	191.9	5,505	178
ピーマン	782	99.7	101.0	723	88.7	107.9	2,023	707

※出典:①入荷量・価格は東京都中央卸売市場月報から ②平年比は都中央実績の直近5年間の平均値から算出(果実類も同じ)

- ・ れんこんは、茨城の市場シェアが約94%。入荷量は夏季の高温等の影響を受け、前年比約85%、平年比約96%とやや少なかった。価格は不足感から前年比約122%、前月比約114%と堅調であった。
- ・ レタスは、まとまった降雨等により各産地玉肥大が進み、全体入荷量も増加。本県においても温暖な気候から出荷はやや前進・大玉傾向となり、市場シェアは前年よりやや増の約54%を占めた。価格は、高かった前年を下回るも平年を20%程度上回る結果となった。
- ・ はくさいは、茨城のシェアが約67%と前年(約75%)を下回った。出荷量は、長期化した干ばつによる小玉傾向に加え、高値による前進出荷で減少ペースが速く数量が伸び悩み、前年比約71%、平年比約66%となった。価格は前年及び平年を大きく上回る堅調な動きとなった。
- ・ ピーマンは、主力の宮崎・高知・茨城が漸増。本県の出荷量はほぼ前年、平年並みで、市場シェアもほぼ前年並みの約39%となった。価格については高値で推移した前年の約89%に留まったが、前年比約108%と堅調な動きとなった。

<果実類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	価格 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
いちご類	669	115.0	109.5	1,239	85.9	100.1	6,067	1,363

- ・ いちご類は、栃木・福岡・茨城を中心に入荷。順調な作柄を背景に2・3番果の出荷量が多く、全国的に前年比増。平年を上回る潤沢な出荷が続き、本県においても出荷量は平年比110%となった。価格は充足感から平年並みとなった。

<花き>

品目	全国平均価格			数量の前年同時期との比較 %
	直近1週間の 平均価格※ 円/本	前年比※ %	平年比※ %	
フリージア	46	85	90	131

※平均価格(単価)はFAJ(大田市場)市況数値から算出。前年比は当該市況の前年同時期の数値から算出、
また、平年比は直近3年間の数値から算出。

- ・ フリージアは、茨城・山形・石川・大阪を中心に入荷。生育遅延により彼岸明けから入荷量が漸増。価格については、前半は平年並み、後半はやや軟調な動きとなった。4月は季咲きを含めて平年並みの入荷量を見込み、価格も安定して推移する見通し。